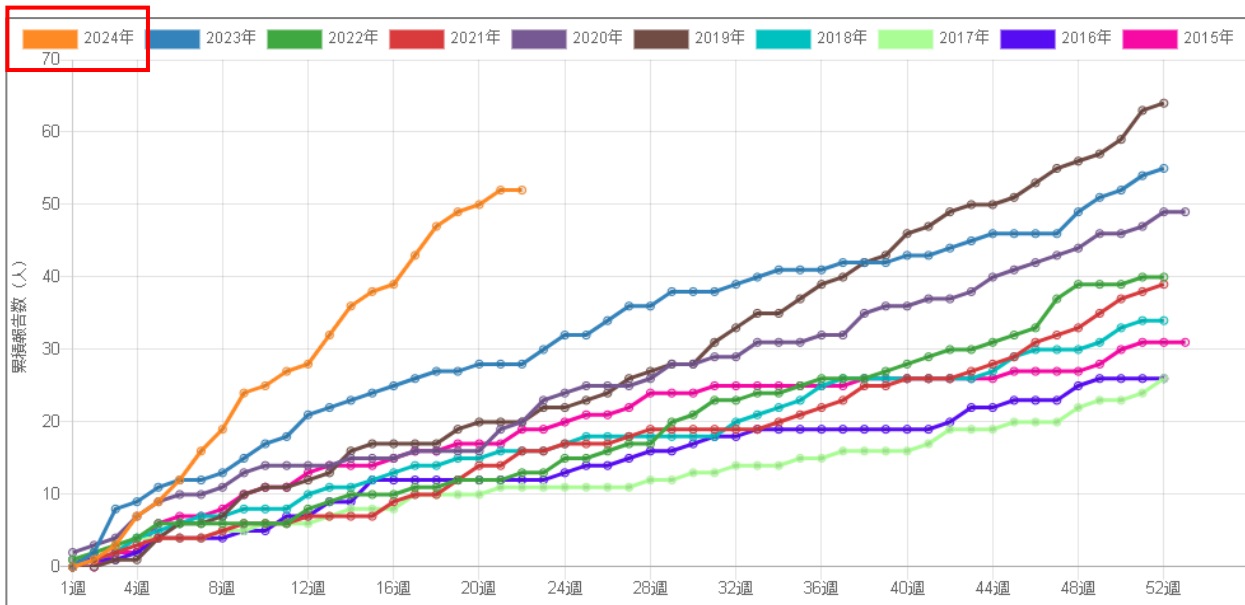


劇症型溶連菌の患者数過去最多に

先日、国立感染症研究所は「劇症型溶血性レンサ球菌感染症（劇症型溶連菌）」の今年の感染者が977人となったと発表し、過去最多だった昨年の患者数を半年で更新しました。劇症型溶連菌感染症は**致死率約30%**と言われており、発病から数十時間で死に至ることもある怖い病気です。

<劇症型溶血性レンサ球菌感染症の感染報告数 年別（2015年～2024年現時点）>



※出典：大阪府感染症情報センター

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（STSS）とは？

劇症型溶連菌感染症は、溶連菌感染症と共に「溶血性レンサ球菌（溶連菌）」により引き起こされます。通常は溶連菌に感染しても無症候のことが多く、ほとんどは咽頭炎や皮膚の発疹などとどまります（溶連菌感染症）。

しかし、まれに劇症化して**手足の壊死（えし）**や**多臓器不全**を起こす（劇症型溶連菌感染症）ことがあります。症状が出てから**急激かつ劇的に症状が進行**し、数十時間で死に至ることも少なくありません。子供から大人まで広範囲の年齢層に発症しますが、特に大人に多いのが特徴です。

感染経路は？

飛沫感染・・・咳やくしゃみなどにより喉や鼻の粘膜から侵入する経路



接触感染・・・ケガや手術による傷など皮膚の傷口から侵入する経路



症状の流れ

< 初期症状 >

- ・ 喉の痛みや発熱
- ・ 手足の腫れや痛み
- ・ 消化器症状

< 後期症状 >

- ・ 筋肉周辺組織の壊死
- ・ 手足の壊死（えし）
- ・ 多臓器不全

- ・ ショック状態
- ・ 死に至る場合も



発症から数十時間

重症化するリスクが高い人は？

妊婦



糖尿病など
基礎疾患が
ある人



高齢者



治療法は？

入院による集中管理のもと、抗菌剤による治療や、壊死を起こしている部分を切除し感染の拡大を防ぐことが挙げられます。

感染拡大を防ぐためには

手洗いや咳エチケット、傷口の清潔な処置などにより、原因となる溶血性レンサ球菌に感染しないことが拡大防止のため重要です。また、異変を感じたら放っておかず、早めに医療機関を受診するようにしましょう。



OTG 健康保険組合

作成：保健師 小野

文責：常務理事 大西昭彦